

決算早期化を実現する「経理・決算の仕組み」の作り方

日時 2022年7月25日(月) 10:00~17:00 (6H)

参加方法 オンライン参加：ZoomによるLive配信

講師 武田公認会計士事務所 所長／公認会計士 たけだ ゆうじ **武田 雄治 氏**

対象 CFO、経理財務部門、経営企画部門

主催  一般社団法人 日本経営協会

開催にあたって

「決算早期化」のみならず、「働き方改革」「テレワーク実施」等の社会的要請がありますが、現状、「決算早期化」「決算効率化」を達成している企業は増えていません。経理部の人材不足も深刻化しています。そんな中、効率的に「決算早期化」を実現するためにはどうしたら良いのか、本セミナーでは「監査する側」と「監査される側」の両方の経験を持ち、決算早期化のコンサルティング業務に従事している講師が、今までの体験をもとに決算早期化・効率化、働き方改革の実現を達成する方法を、先進事例を交えながら分かりやすく解説します。

■参加料 (1名様) ※テキスト・資料代などを含みます。

- ◇ 日本経営協会会員(1名)：33,000円(税込)
- ◇ 一般 (1名)：40,700円(税込)

■受講お申込み方法

下記「お申込みの流れ」を参照いただき、お申込みは開催日の5営業日前までお願いいたします。

【WEBからのお申込み方法】

- ① 一般社団法人日本経営協会
ホームページ <https://www.noma.or.jp> から
- ② 「セミナー／講座」を選択
- ③ 「セミナーを探す」よりカテゴリーを選択
- ④ ご希望セミナーを検索。ご希望のセミナー名をクリック
- ⑤ ご希望セミナー詳細の最後の「WEB申込」からお申込み
※テキスト・資料の送付先が、ご連絡先と異なる場合は「連絡事項」部分に送付先住所をご入力下さい。
- ⑥ お申込みをいただきますと、確認メールが届きます

■参加料金お支払い方法

お申込み後、振込口座名を記載した請求書と参加券をご連絡担当者にお送りします。なお、開催3営業日前までに届かない場合は必ず電話にてご確認ください。参加料のお振込みは原則として請求書に記載のお支払期限までお願いいたします。

振込み手数料は貴社(団体)にてご負担下さい。また、領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきます。

■オンライン参加について

【セミナーで使用するテキスト・資料とご視聴について】

セミナーで使用するテキスト・資料類は、現物(紙)を送付する予定ですが、ダウンロードURLをメールでご案内する場合もございます。当日、視聴していただくためのURL及びID・パスワードは、別途担当からメールにてご連絡担当者宛てご連絡いたします。

お申込み・お問合せ先

一般社団法人 日本経営協会
企画研修グループ・オンライン開発グループ

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8
TEL (03) 3403-1891(直) FAX (03) 3403-1130
E-mail: tms@noma.or.jp URL <https://www.noma.or.jp>

【オンラインセミナー受講上の注意事項について】

Zoomに接続可能なパソコンまたはタブレット端末をご用意下さい。事前に各ストアから無料アプリをダウンロード(最新のバージョンに更新)して下さい。

Zoom公式ホームページ: <https://zoom.us/>

セミナー動画の録音、録画、映像のスクリーンショット等は固くお断りしております。また自ら、又は第三者を通じて、テキストデータおよびセミナー動画の転載、複製、出版、放送、公衆送信その他著作権・知的財産権を侵害する一切の行為をしてはならないものとします。

セミナー参加に必要な通信環境、通信料等は、参加者のご負担となりますのであらかじめご了承下さい。

■会員入会手続きについて

入会の詳細および特典については、ホームページの「会員検索／ご入会のご案内」をご参照下さい。

■キャンセルについて

お申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は必ず事前にご連絡下さい。セミナーテキスト・資料の到着後のキャンセルについては、参加料の100%を申し受けます。(セミナー開催日の1週間前程度から発送開始)

■その他

参加者が少数の場合、天災、その他の不可抗力の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。

プログラム内容

1. 決算早期化を実現している会社の特徴

- 単体決算の特徴
- 連結決算の特徴
- 開示業務の特徴
- 会計監査の特徴
- その他の特徴

2. 決算早期化を達成できない原因と解決策

- 決算早期化を阻害するボトルネックとは
- 決算が全体的に遅い会社の原因と解決策
- 単体決算が遅い会社の原因と解決策
- 連結決算が遅い会社の原因と解決策
- 開示業務が遅い会社の原因と解決策
- 会計監査に時間がかかりすぎている会社の原因と解決策

3. 決算早期化を実現する「経理・決算の仕組み」の作り方

- 経理部は価値ある情報を出荷する「情報製造業」である。
- 決算早期化達成企業の経理部の在り方
- 経理部の在り方と決算早期化の関係
- 経理部の「7つの業務」からみる決算が遅延する根本的な原因

4. 決算早期化を実現するアウトプット事例

- アウトプット資料の見直し、効果
- アウトプット資料の他社事例
- 決算早期化を実現するための財務分析の方法
- 財務分析の事例紹介

5. 決算早期化を実現する「決算業務のマクドナルド化」

- マクドナルドは究極の早期化モデル
- 決算早期化達成企業の経理部の人材と人材育成方法
- マクドナルド化後の業務分担

6. 質疑応答

※サブテキストとして講師著『「経理の仕組み」で実現する決算早期化の実務マニュアル〈第2版〉』（中央経済社）を進呈します。

講師プロフィール

武田公認会計士事務所 所長／公認会計士 たけだ ゆうじ 武田 雄治 氏

大手監査法人、東証上場企業の財務経理部門に勤務の後、2005年に独立。現在、武田公認会計士事務所所長。

「経理を変えれば会社は変わる」の信念のもと、多くの上場企業の会計コンサルティングを行い、経営者・経理担当者から圧倒的な支持を受けている。特に、決算早期化、IFRSの分野では第一人者と称され、セミナーはこれまで3,000人以上が来場、多くの方が「目から鱗が落ちた」と絶賛。ブログ『CFOのための最新情報』は月間のべ10万人以上が閲覧。

主な著書は、『「経理」の本分』、『決算早期化が実現する7つの原則』、『先行開示事例から学ぶ取るIFRS導入プロジェクトの実務』（いずれも中央経済社）など多数。